

## 鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告

### 1. 鳥栖市の CO2 排出量の削減目標

年度	1990 (基準年)	2021 (短期)	2030 (中期)	2050 (長期)
市民 1 人当たり CO2 排出量(t)	9.8	8.8	7.8	2.0
1990 年度比	-	▲10%	▲20%	▲80%

直近の目標として、2021 年までに市民 1 人当たり CO2 排出量を 1990 年度比 10%削減する必要がある。

### 2. 鳥栖市の CO2 排出量

年度	1990 (H2)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	
CO2 排出量 (千 t)	産業	407	332	503	483	487	488	473
	家庭	57	95	124	134	152	135	122
	業務	145	138	166	181	188	180	167
	運輸	95	133	131	133	132	131	131
	一般廃棄物	3	8	10	10	10	10	9
	合計	707	706	934	941	969	945	901
	1990 年度比	-	▲0.1%	+32.1%	+33.1%	+37.0%	+33.7%	+27.5%

出典：環境省ホームページ「部門別 CO2 排出量の現況推計」

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 1990 年度、2010～2015 年度の排出量については、「総合エネルギー統計」及び「都道府県別エネルギー消費統計」の改訂・更新、「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」の策定・公表に伴い再集計・遡及修正を行った。

東日本大震災（2011 年 3 月）以降、原子力発電所の停止に伴って火力発電量が増加したことから、電気の CO2 排出係数が上昇しており、基準年度と比べると全体的に CO2 排出量が増加している。

2015 年度の CO2 排出量は、基準年度（1990 年度）と比較すると、全ての部門で大幅に増加しているが、前年度（2014 年度）と比較すると、全体で減少している。

これは、近年の原子力発電量の増加・火力発電量の減少により電気の排出係数が低減していることが主な要因と考えられ、特に、電気使用が多い産業、家庭、業務部門での減少幅が大きくなっている。

### 3. 鳥栖市の人口及び市民 1 人当たり CO2 排出量

年度	1990 (H2)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)
鳥栖市人口 (人) ※9 月末現在	55,572	68,339	69,311	70,717	71,490	71,959	72,191
1990 年度比	-	+23.0%	+24.7%	+27.3%	+28.6%	+29.5%	+29.9%
市民 1 人当たり CO2 排出量 (t)	12.7	10.3	13.5	13.3	13.6	13.1	12.5
1990 年度比	-	▲18.8%	+5.9%	+4.6%	+6.5%	+3.2%	▲1.9%

市民 1 人当たり CO2 排出量は、前年度（2014 年度）と比較すると減少しているが、2021 年度の目標値を達成するためには、市民 1 人当たり 3.7t(約 29.6%)削減する必要がある。

## 4. 戦略別の取り組み実績

### 1. エコライフの普及促進

#### ○ 小学生を対象とした環境出前講座の実施

市内全小学校の4年生または5年生を対象として、地球温暖化をテーマとした環境出前講座を実施した。

##### ● 環境出前講座の実績（平成30年度）

学校名	学年	対象者数	実施日
鳥栖小学校	4	117名	平成30年10月10日（水）
鳥栖北小学校	4	111名	平成30年10月5日（金）
田代小学校	5	67名	平成30年10月9日（火）
弥生が丘小学校	5	185名	平成30年10月16日（火）
若葉小学校	4	77名	平成30年10月15日（月）
基里小学校	4	57名	平成30年11月20日（火）
麓小学校	4	99名	平成30年10月12日（金）
旭小学校	4	139名	平成30年10月2日（火）



環境出前講座の様子

#### ○ 生ごみ処理機購入補助の実施

家庭ごみの減量を目的として、生ごみ処理機を購入する市民に対して、費用の一部を助成した。

平成30年度は、電動生ごみ処理機、コンポスト等の生ごみ処理容器、ディスプレイを対象とした。

対象品目	補助額
電動生ごみ処理機・ディスプレイ	購入額の2分の1（上限2万円）
コンポスト、キエーロ等の生ごみ処理容器	購入額の2分の1（上限1万円）

##### ● 生ごみ処理機等購入補助の実績（平成30年度）

	電動生ごみ処理機	生ごみ処理容器		ディスプレイ
		コンポスト	キエーロ	
平成28年度	11件	16件	1件	0件
平成29年度	11件	16件	2件	0件
平成30年度	13件	16件	1件	0件

### 2. 省エネ家電・設備の普及促進

#### ○ 省エネ、エコライフの促進

省エネ、エコライフの促進につながる情報を「とっとちゃんのエコライフ」として市報に12回掲載した。

##### ● 市報の掲載実績（平成30年度）



4月 エコ通勤をしよう	5月 生ごみの水切り	6月 ペットボトルで除湿
7月 夏野菜を食べよう	8月 室外機の手入れ	9月 生ごみを濡らさない
10月 秋も節電	11月 エコドライブ	12月 冬のインテリア
1月 暖房の効率化	2月 冬野菜を食べよう	3月 アイロン

### 3. 次世代交通の推進

#### ○ 公共交通機関の利用促進

70歳以上で運転免許証を自主返納した方、もしくは、75歳以上の方に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用促進を図った。

平成25年度までを試用期間としていたが、平成26年度から市内全路線を対象とし、本格実施している。

今後も高齢者の移動手段の確保とバス利用促進のため継続して実施する。

#### ● 実績

年 度	H26	H27	H28	H29	H30 (H31年2月末)
実購入者数(人)	500	521	544	532	484

### 4. 再生可能エネルギーの普及促進

#### ○ バイオマスの推進

平成25年度から、鳥栖市浄化センターにおいて、下水処理過程で発生する汚泥を利用した消化ガス（メタンガス）発電に取り組んでいる。

発電量実績 平成30年度（平成31年2月末現在）**567,240 kWh**  
 → 129世帯分の年間電気使用量に相当  
 ※ 1世帯当たり年間電気使用量 4,397kWh  
 （環境省ホームページ「エネルギー消費量（固有単位）」より）



#### ● 実績

年 度	H26	H27	H28	H29	H30 (H31年2月末)
発電量(kWh)	621,750	623,220	619,150	618,480	567,240

### 5. スマートコミュニティの構築

#### ○ 市街地緑化の推進

市街地緑化の推進として、市主催のイベント等において花や木の配布を行った。

#### ● ボランティア団体への緑化事業の支援実績（平成30年度）

【県】公益社団法人 さが緑の基金

【市】花とみどりの推進協議会

平成31年2月時点で、8団体に各2万円の補助を行っている。

#### ● 花の日（平成30年5月26日）

来場者に、花3,000株、木1,000本を配布した。

#### ● 植樹祭（平成30年11月10日）

来場者に木70本を配布した。

#### ● その他緑化樹の配布（平成30年度）

平成31年2月時点で、市民や町区に、木252本の配布を行っている。

